三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法　価格を競争に付して行われる入札（以下「価格競争入札」という。）による発行（以下「価格競争入札発行」という。）、価格競争入札と同時に行われる入札であって、財務大臣が各国債市場特別参加者ごとに応募限度額を定めるものによる発行（以下「国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行」という。）及び価格競争入札の募入の決定をした後に行われる入札であって、財務大臣が各国債市場特別参加者ごとに応募限度額を定めるものによる発行（以下「国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行」という。）

五　募入決定の方法　イ　価格競争入札発行　各申込みのうち応募価格の高いものからその応募額を順次割り当てる。

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行及び国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　各国債市場特別参加者ごとの応募限度額の範囲内において各申込みの応募額を割り当てる。

六　発行額　イ　価格競争入札発行　額面金額で五千五百十四億円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　額面金額で五千五百十四億円うち、財政法第四条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で二千五億五千八百十万円、特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で三千五百八億四千百九十万円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で四百七十八億円

ハ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で六百九十一億円

七　払込金額　イ　価格競争入札発行　五千四百九十八億六千六百三十万円

ロ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　四百七十六億六千六百十六万円

ハ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　六百八十九億六百五十二万円

八　最低額面金額　五万円

九　振替単位　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十一年八月十一日

十一　発行価格　イ　価格競争入札発行　額面金額百円につき九十九円六十五銭以上のそれぞれの応募価格

ロ　国債市場特別参加者・非価格競争入札発行及び国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　額面金額百円につき九十九円七十二銭

十二　利率　年二・三パーセント

十三　経過利子の払込み　㈠　募入決定の通知を受けた者は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第二十号に規定する期日に払い込むものとする。

$$\text{額面金額の総額} \times \frac{2.3}{100} \times \frac{144}{365}$$

㈡　発行時において、その利子に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについては、前記㈠の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十を乗じた金額（ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記㈠の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が適用を受ける所得税の税率を乗じた金額）を控除することができる。

十四　初期利子　平成二十一年九月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十六号において規定する期日について同じ。）。

$$\text{額面金額} \times \frac{2.3}{100} \times \frac{1}{2}$$

十五　第二期以後の利子　毎年三月二十日及び九月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。

十六　償還期限　平成五十一年三月二十日

十七　償還金額　額面金額百円につき百円

十八　元利金支払場所　日本銀行

十九　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者

二十　払込期日　平成二十一年八月十一日

○財務省告示第二百九十五号

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十一年八月十三日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十一年九月八日

財務大臣　与謝野　馨

一　名称及び記号　利付国庫債券（二十年）（第七十七回、第八十四回、第八十五回、第九十回、第九十四回、第九十六回、第九十七回、第百一回、第百二回、第百三回、第百四回、第百五回、第百六回、第百七回及び第百八回）及び利付国庫債券（三十年）（第二回、第四回、第五回、第六回、第八回、第十回、第十一回、第十四回、第十五回、第十八回、第十九回、第二十一回、第二十三回、第二十四回、第二十五回、第二十六回及び第二十九回）

二　発行の根拠法律及びその条項　特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項

三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。

四　発行方法　利回り格差（第十七号に規定する利回りに応募した者が加算する数値をいう。次号において同じ。）を競争に付して行われる入札による発行

五　募入決定の方法　各申込みのうち利回り格差の小さいものからその応募額を順次割り当てる。

六　発行額　額面金額で二千九百九十四億円

内訳（別表のとおり）

三千二十四億九百三十八万五千円

七　払込金額　五万円

八　最低額面金額　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

九　振替単位　平成二十一年八月十三日

十　発行日　発行対象国債ごとに、額面金額百円につき、次の算式により算出した金額

$$100 + \text{表面利率} \times \text{残存年数} - \left(\text{第十七号に規定する利回り} + \text{募入利回り格差}\right) \times \text{残存年数} \times \frac{100}{100}$$

十一　発行価格